

## 経理適正化外部委員会 会議録

1 日 時 平成21年2月25日(水) 午前9時30分から午前9時45分まで

2 場 所 愛知県議会議事堂1階ラウンジ

3 出席者 ○経理適正化外部委員会(委員は50音順、敬称略)

委員長 山田 靖典<弁護士>

委員 前川 三喜男<公認会計士>

委員 村松 豊久<弁護士>

○県

知 事 神田 真秋

副 知 事 西村 眞

総 務 部 長 島田 孝一

会 計 管 理 者 夏目 安孝

人事担当局長 河村 敏文

○事務局

総 務 部 次 長 原田 泰

出 納 事 務 局 次 長 松原 新一

総 務 課 長 中野 幹也

人 事 課 長 小椋 雅

総 務 課 主 幹 田中 正剛

人 事 課 主 幹 加藤 徹

出納事務局管理課主幹 坂野 監治

5 発言内容

小椋人事課長 時間がまいりましたので、ただいまから「経理適正化外部委員会」を開催させていただきます。

それでは、経理適正化外部委員会から神田知事に対しまして、委員会としての文書をお渡ししたいと存じます。

山田委員長よろしく願いいたします。

### 文書「経理適正化に関する意見」の手交

小椋人事課長 ありがとうございます。

山田委員長、前川委員、村松委員におかれましては、昨年10月に外部委員にご就任をいただいて以降、17回に及ぶ委員会を通じまして、様々な助言や意見をいただいたところであります。

先ほどは、知事に「経理適正化に関する意見」の手交をいただいた訳ですが、山田委員長からこれらも含めてお話があればお願いいたします。

山田委員長 経理適正化に関する意見の中に記載させていただいたとおり、県は真摯に対応され、私ども外部委員会にとって納得のいく報告書案が取りまとめられたものと考えております。

県におかれては、今後、改善に向けた取組を積極的に進められることを強く期待しております。

小椋人事課長 ありがとうございます。

次に、前川委員お願いいたします。

- 前川委員 県との意見交換の中で、われわれの主張は十分取り入れられました。ただ、行政の内部統制に欠陥が生じているのではないかと。その結果が今回の件につながっているのではないかと思います。今回の報告書案の再発防止策の中にも、そういったことは十分盛り込まれておりまして、今後は監査委員事務局以外にも、われわれ外部の専門家を活用し、経理適正化に関する県民への説明を強くしていただくといったことを要望しておりましたが、そういった意見につきましても、対応していただいたと思っております。
- 小椋人事課長 ありがとうございます。  
次に、村松委員お願いいたします。
- 村松委員 今回の問題によりまして、県に対する県民の信頼が傷ついたことは御承知のとおりであります。ただ、このことは県に対する県民の期待が大きいことの裏返しであると思えます。今回の外部委員会の委員としては、県民の視線ということを常に考えながら、改善策等についても御意見を申し上げてまいりました。改善策につきましては、原因の究明をきちんと受けて、構築することも大事であります。今後、この改善策をきちんと実行していくことが極めて重要であることは異論のないところであります。一度失われてしまった県民の信頼を回復することは、今後、改善策をきちんと実行していった結果を出すとともに、そのことを継続していくことが大事なことだと考えておりますので、これからの県の対応を大いに期待しているところであります。
- 小椋人事課長 ありがとうございます。  
それでは、知事からごあいさつを申し上げます。
- 神田知事 経理適正化外部委員会委員の皆様方に、お礼のごあいさつを申し上げたいと思えます。外部委員会の先生方には、御就任いただいて以来、17回にわたる委員会に精力的に、真摯に、熱意を持って取り組んでいただきました。今、山田委員長さんから委員会としての意見書をいただいたわけでありますけれども、まずもって、各委員のこれまでの御努力、また、大変な御苦労に敬意を表したいと思えます。本当にありがとうございました。先生方が御就任以来、適切な御意見をいただいておりますことは、経理適正化推進チームの座長などからその都度報告を受けておりました。そして、その御意見を調査に、あるいは、改善・再発防止策に、あるいは責任問題などに的確に反映しながら、県民の皆様方に御納得いただけるものにしたいたいと考えながら、これまで対応してまいりました。いろいろな意見をいただく中で、私どもも、道を逸れることなく、本日を迎えられましたことを、本当にお礼申し上げなければならないと思っております。この上は、今も山田先生、前川先生、村松先生がそれぞれおっしゃいましたとおり、信頼回復のための再発防止策をきちんと実施していくことが一番肝心だろうと思っております。もちろん私ども、その方向に向けて、全庁挙げて取り組んでまいりますが、それでも願わくば専門的なお立場で、これからも御指導や御助言をいただければと思っておりますので、3先生の御了解をいただければ、

この外部委員会、概ね1年ぐらいは継続、存置させ、引き続き御指導いただきたいと思っ

ているところであり、また、御了解いただければ、どうかよろしくお願い申し上げます。

なお、これまでいただいていた様々な意見を反映させる形で、明日、県としての全庁調査報告書を取りまとめ、それを公にする予定でございます。

私ども、この報告書の中で、調査結果はもちろんありますが、改善・再発防止策、職員の責任の問題、あるいは損害の補填の問題なども取り上げております。

そうした多方面の内容につきまして、先生方から御意見をいただき、概ね先生方の御意見のとおりとさせていただいたと思っております。

今申し上げたような段取りで今後進めさせていただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。

今回の件は、愛知県にとりましても大きな試練でございました。

しかし、試練はまだ終わっておりません。

これから大切な時期を迎えるということを再認識し、職員にもしっかりと指示し、県民の皆様方の信頼回復が一日も早くなるように努力をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

繰り返しになりますが、昨年の秋以来、17回に及ぶ大変な御調査、あるいは検討会議、大変ありがとうございました。

心からお礼を申し上げ、敬意を表し、私からのお礼のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

山田委員長

概ね1年にわたり検証を努めさせていただくことについては、承知いたしました。よろしくお願い致します。

小椋人事課長

それでは、これをもちまして、経理適正化外部委員会を終了させていただきたいと存じます。

長い間、大変ありがとうございました。